

秩父別町水田収益力強化ビジョン

令和6年 月策定

秩父別町農業再生協議会

令和6年度 秩父別町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

秩父別町は、全耕地面積に占める主食用米面積の割合が約79%で、転作作物は小麦、大豆、そばをはじめ、加工用米、飼料用米の面積が多い。

米の集荷施設を整備し、主に水稻を作付けしてきた地域としては、主食用米の需要が減少する中、加工用米、飼料用米などで水張面積の維持を図っていくことが重要である。

今後は、制度の周知・ビジョンの設定に係る検討を進め、水田活用の直接支払交付金・産地交付金を活用しながら加工用米、新規需要米（飼料用米）に取組みJA独自の需要者の開拓と結びつきを強化していくことが急務である。

そのほか、麦、大豆については、排水不良により単収の低下を招いているほ場があることから暗渠等の整備による排水対策や、融雪剤散布等による融雪促進が必要となっている。

また、複合経営の手段として土地利用型のブロックリー、施設園芸の花き・ミニトマト・メロン・きゅうり・加工用トマトについて維持、拡大を目指す。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本町においては、高齢化、それに伴う離農及び農地の集積による農家の規模拡大が続いている傾向にあり、高収益作物への転換が難しい状況にある。

これまで産地交付金を活用しながら、主食用米と比較して面積当たりの所得が高い野菜等の高収益作物の作付け拡大を図っているが、水田作に占める同作物の作付率は約1.1%と低い状況となっている。

高収益作物の導入に当たっては、需要が増加している野菜の安定生産や、消費者のニーズに対応した多様な品目の作付け、高品質で安定した生産による産地ブランド力の向上、地域に適応した品種の選定・普及、販売地域の拡大などの取組を通じて、特色ある産地づくりや収益力の向上による経営の安定化を進める。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

地域の実情に応じた作物の本作化や、計画的な農地の集積・集約化を図ろうとする場合などに、広く地域関係者とも調整しながら、各産地が必要な畑地化の取り組みを進めることができるよう、関係機関・団体が連携して、水稻を組み入れない作付け体系が定着しているほ場を把握し、畑地化に係る支援内容の情報提供や、地域の対応方針について助言を行う。

なお、畑地化の取組を進めるにあたっては、「地域計画」により描かれた地域の将来像や、担い手の農業経営改善計画など、効率的な土地利用に配慮する。

また、麦・大豆の連作障害回避等のため、ブロックローテーション体系の構築を進めることができるよう、乾田直播や無代かき栽培の普及、集中管理孔の整備等を推進する。

なお、ブロックローテーションの導入にあたっては、米のタンパク質含有率の増加や、排水性・作業効率の低下といった課題が生じることもあるため、こうした現場課題を把握しつつ、関係機関・団体と連携し、必要な対応策を検討する。

特に、重点期間である令和6年度から令和8年度での営農計画を立てるため、令和4年

度から令和6年度にかけて畑作物の作付けが続いているほ場の情報を再生協議会から農業者に対し、令和6年度に情報提供する。

4 作物ごとの取組方針等

秩父別町の約2,640haの水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底によって米の主産地としての地位を確保する。

前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

(2) 備蓄米

必要数量に応じた作付けを実施する。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

産地交付金を活用しつつ、実需者との契約に基づき、必要数量に応じた契約数量を目指す。

イ 米粉用米

産地交付金を活用しつつ、地域の実需者との結びつきを強化し生産拡大を図っていくこととし、必要数量に応じた契約数量を目指す。

ウ 新市場開拓用米

地域の水張転作の手段として、実需者との契約に基づき、必要数量に応じた契約数量を目指す。

エ WCS用稲

産地交付金を活用しつつ、実需者との契約に基づき、必要数量に応じた契約数量を目指す。

オ 加工用米

産地交付金を活用しつつ、系統（ホクレン）を中心としながらも、JA独自の需要者の開拓を取り進め、需要量と生産面積拡大を図っていくこととし、必要数量に応じた契約数量を目指す。

(4) 麦、大豆、飼料作物

サブソイラ等の耕盤層破壊や、簡易暗渠を含めた暗渠施工を取り入れ、品質向上と収穫量増加を目指す。

(5) そば

サブソイラ等の耕盤層破壊や、簡易暗渠を含めた暗渠施工を取り入れ、品質向上と収穫量増加を目指す。

(6) 地力増進作物

「北海道緑肥作物等栽培利用指針（改訂版）」（平成16年3月策定）等に基づく地力増進作物の作付けにより、良質な転作作物の安定供給、生産コストの低減及び環境負荷の軽減に配慮した合理的な施肥管理・土壌管理を進める。

対象とする作物は別紙「産地交付金対象地力増進作物一覧」のとおり。

(7) 高収益作物（園芸作物等）

「ブロッコリー・加工用トマト・花卉・ミニトマト・メロン・きゅうり」を振興品目として維持、拡大する。

(8) その他（小豆）

サブソイラ等の耕盤層破壊や、簡易暗渠を含めた暗渠施工を取り入れ、品質向上

と収穫量増加を目指す。

(9) 耕畜連携

耕種農家と畜産農家における連携を推進する。

5 作物ごとの作付予定面積 ~ **8 産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1,865.4	0.0	1,903.7	0.0	1,865.6	0.0
備蓄米	144.6	0.0	170.1	0.0	166.7	0.0
飼料用米	63.8	0.0	46.9	0.0	46.9	0.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	3.4	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0
WCS用稲	6.0	0.0	6.0	0.0	6.0	0.0
加工用米	55.7	0.0	55.6	0.0	55.6	0.0
麦	272.3	0.0	256.7	0.0	282.4	0.0
大豆	42.9	0.0	37.2	0.0	40.9	0.0
飼料作物	1.4	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	57.6	0.0	58.3	0.0	88.4	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地力増進作物	19.2	0.0	22.6	0.0	24.2	0.0
高収益作物	32.6	0.0	28.2	0.0	33.1	0.0
・野菜	26.8	0.0	23.3	0.0	26.4	0.0
・花き・花木	5.8	0.0	4.9	0.0	6.7	0.0
・果樹	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
・その他の高収益作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.4	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
・小豆	0.4	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
畑地化	3.4	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標	前年度（実績）		目 標 値	
1	小麦	麦・大豆生産性向上助成	単収	(5年度)	416kg/10a	(8年度)	485kg/10a
	作付面積		(5年度)	272.3ha	(8年度)	282.4ha	
	大豆（黒大豆を含む）		単収	(5年度)	228kg/10a	(8年度)	254kg/10a
	作付面積		(5年度)	42.9ha	(8年度)	40.9ha	
2	そば	そば生産性向上助成	単収	(5年度)	30kg/10a	(8年度)	87kg/10a
			作付面積	(5年度)	57.6ha	(8年度)	88.4ha
3	小豆	小豆生産性向上助成	単収	(5年度)	181kg/10a	(8年度)	230kg/10a
			作付面積	(5年度)	0.4ha	(8年度)	0.2ha
4	ブロッコリー、加工用トマト	地域振興作物助成	作付面積	(5年度)	23.1ha	(8年度)	22.4ha
5	花卉、ミニトマト、メロン、きゅうり	地域振興作物助成	作付面積	(5年度)	6.5ha	(8年度)	7.4ha
6	その他作物	地域振興作物助成	作付面積	(5年度)	3.0ha	(8年度)	3.3ha
7	そば	そば作付助成	作付面積	(5年度)	57.6ha	(8年度)	88.4ha
8	新市場開拓用米	新市場開拓用米取組拡大助成	作付面積	(5年度)	3.4ha	(8年度)	3.4ha
9	地力増進作物	地力増進作物作付助成	作付面積	(5年度)	19.2ha	(8年度)	24.2ha
10	新市場開拓用米	複数年契約加算（新市場開拓用米）	作付面積	(5年度)	3.4ha	(6年度)	3.4ha

※必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:北海道

協議会名:秩父別町農業再生協議会

整理 番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	麦・大豆生産性向上助成	1	13,000	小麦・大豆(黒大豆を含む)	排水対策等
2	そば生産性向上助成	1	6,200	そば	排水対策等
3	小豆生産性向上助成	1	23,900	小豆	排水対策等
4	地域振興作物助成	1	62,500	ブロックリー、加工用トマト	作付面積に応じて支援
5	地域振興作物助成	1	60,000	花卉、ミニトマト、メロン、きゅうり	作付面積に応じて支援
6	地域振興作物助成	1	40,000	その他作物(別紙参照)	作付面積に応じて支援
7	そば作付助成	1	20,000	そば	作付面積に応じて支援
8	新市場開拓用米取組拡大助成	1	20,000	新市場開拓用米	新規需要米取組計画の認定
9	地力増進作物作付助成	1	20,000	地力増進作物	播種から鋤き込みまでの実施等
10	複数年契約加算(新市場開拓用米)	1	10,000	新市場開拓用米	3年以上の複数年契約の締結、新規需要米取組計画の認定

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

※5 支援年限を記入してください。

秩父別町で対象とする作物(その他作物・花卉)の設定

	区 分
1	その他
2	作物
3	青じそ
4	アスパラガス
5	いちご
6	いんげん
7	枝豆
8	オクラ
9	かぶ
10	かぼちゃ
11	カリフラワー
12	カンロ
13	キャベツ
14	きゅうり
15	ゴーヤ(にがうり)
16	ごぼう
17	こまつな
18	さつまいも
19	さやいんげん
20	さやえんどう
21	ししとう
22	シロウリ
23	しろ菜
24	すいか
25	ズッキーニ
26	スナッPEndウ
27	そらまめ
28	だいこん
29	たまねぎ
30	ちんげんさい
31	つるむらさき
32	とうがらし
33	とうもろこし
34	トマト
35	なす
36	なんばん
37	にら
38	にんじん
39	にんにく
40	にんにくの芽
41	ねぎ
42	はくさい
43	パプリカ
44	馬鈴薯(でん粉原材料を除く)
45	ピーマン
46	ほうれん草
47	みつば
48	みょうが
49	メロン
50	モロヘイヤ
51	ヤーコン
52	山芋(長芋、大和芋)
53	落花生
54	ラディッシュ
55	レタス・サラダ菜
	ロマネスコ
	わさびだいこん(山わさび)

	区 分
1	花卉
2	アジサイ
3	アスクレピアス
4	アスター
5	アスチルベ
6	アストランチャ
7	アスパラガス(観賞用)
8	アトランティアマヨール
9	アナベル
10	アネモネ
11	アマランサス
12	アリウム
13	アリストロメリア
14	アリッサム
15	アルケミラ
16	アルブカ
17	イキシア
18	イタリアンスカス
19	インパチェンス
20	ウイキョウ
21	ウインターグラジオラス
22	うばゆり(ユリ科)
23	ウメモドキ
24	エキノプシス
25	エボタ
26	エリンジウム
27	エレムルス
28	オオデマリ
29	オーニソガラム
30	オダマキ
31	オレガノ
32	カーネーション
33	ガーベラ
34	カキツバタ
35	カスミソウ
36	かぼちゃ(観賞用)
37	ガマ(ガマ科)
38	カラー
39	カンゾウ
40	カンパニュラ
41	ギガンジウム
42	キク
43	菊アスター(キク科)
44	切葉類
45	キャラウェイ
46	キャンディタフト
47	金風車(キク科)
48	きんぎょそう
49	クジャクソウ
50	グラジオラス
51	グラスペディア
52	うばゆり(ユリ科)
53	ウメモドキ
54	エキノプシス
55	エボタ
56	エリンジウム
57	エレムルス
58	オオデマリ
59	オーニソガラム
60	オダマキ
	オレガノ

秩父別町で対象とする作物(その他作物・花卉)の設定

	区	分
61	花卉	カーネーション
62		ガーベラ
63		カキツバタ
64		カスミソウ
65		かぼちゃ(観賞用)
66		ガマ(ガマ科)
67		カラー
68		カンゾウ
69		カンパニュラ
70		ギガンジウム
71		キク
72		菊アスター(キク科)
73		切葉類
74		キャラウェイ
75		キャンディタフト
76		金風車(キク科)
77		きんぎょそう
78		クジャクソウ
79		グラジオラス
80		グラスペディア
81		カーネーション
82		ガーベラ
83		カキツバタ
84		カスミソウ
85		かぼちゃ(観賞用)
86		ガマ(ガマ科)
87		カラー
88		カンゾウ
89		カンパニュラ
90		ギガンジウム
91		キク
92		菊アスター(キク科)
93		切葉類
94		キャラウェイ
95		キャンディタフト
96		金風車(キク科)
97		きんぎょそう
98		クジャクソウ
99		グラジオラス
100		グラスペディア
101		クリスマスローズ
102		クレマチス
103		グロリオサ
104		けいとう
105		小菊
106		コスモス
107		コティナス
108		コデチャ
109		コデマリ
110		コリウス
111		コワニー(ユリ科)
112		サイネリア
113		桜小町
114		サクラソウ
115		サリクトラム
116		サンダーソニア
117		シオン(キク科)
118		シクラメン
119		ジニア
120		シヌアータ

	区	分
121	花卉	シネンシス
122		シモツケ
123		シャクヤク
124		宿根デージー
125		ショウブ
126		シレネ
127		白妙菊
128		シンフォリカルフォス
129		スイートピー
130		スイセン
131		スカビオサ
132		スキミア
133		スズメウリ
134		スズラン
135		スターチス
136		スタキス
137		スティパ
138		ストック
139		ストロベリーコーン
140		ストロベリースティック
141		スナップ
142		スノーボール
143		スピードリオン
144		スモークグラス
145		スモークツリー
146		スモグソウ
147		セダム
148		セファロフォラ(加工用)
149		ゼラニウム
150		セロシオ
151		セントーレアオリエンタリス
152		千日紅
153		センニチソウ
154		ソリダコタラ
155		ソリダスター
156		ダイアンサス
157		大根草
158		ダスティミラー
159		ダリア
160		チドリソウ
161		チューリップ
162		チョコレートコスモス
163		てまり草
164		テマリシモツケ
165		デルフィニウム
166		とうがらし(観賞用)
167		トリカブト
168		トリトマ
169		トルコギキョウ
170		トロリウス
171		ナス(観賞用)
172		ナデシコ
173		ナナカマド
174		ナルコユリ
175		ニゲラ
176		ネマヘラソウ
177		ネムリヒメ(アヤメ科)
178		ネリネ
179		バイカウツギ(切枝)
180		ハイドランジア

秩父別町で対象とする作物(その他作物・花卉)の設定

	区 分
181	花卉 ハス
182	とうきび(観賞用)
183	ハナナス
184	パニカム
185	パプチシア
186	ハボタン
187	バラ
188	パンジー
189	ビオラ
190	ビブルナム
191	ヒベリカム
192	ヒマワリ
193	ヒメヒコダイ
194	ヒメヒマワリ
195	ハクニチソウ
196	ピンピネラ
197	フェンネル
198	フサスグリ
199	ふじなでしこ
200	フジバカマ
201	プッチーニ(ウリ科)
202	ブプレウラム
203	フリージア
204	ブルースター
205	ブルースプレー
206	ブルビネラ
207	フロックス
208	ペコニア
209	ペチュニア
210	ベニバナ(カルタムス)
211	ヘリクリサム
212	ヘレニューム
213	ベロニカ
214	ポインセチア
215	ホオズキ
216	ボタン
217	ホトギス
218	マーガレット
219	マトリカリア
220	マンサク
221	ミズヒキ
222	ミナズキ
223	ムギ(観賞用)
224	ムスカリ
225	紫式部
226	メコノプシス
227	メロン(観賞用)
228	モナルダ
229	モルセラ
230	ヤマゴボウ
231	山ウド(ウド科)
232	ユーカリ
233	ユーストマ
234	ユーパトリウム
235	ユーホルビア
236	ユキヤナギ(バラ科)
237	ユリ
238	洋ラン類
239	ラークスパー
240	ライラック

	区 分
241	花卉 ラナンキュラス
242	ラベンダー
243	ラムズイヤー
244	リアトリス
245	リナリア
246	リオン
247	リシマキア
248	リンドウ
249	ルドベキア
250	ルリタマアザミ
251	レースフラワー
252	ローズマリー
253	ロマネスコ
254	ワレモコウ
255	利休草